トステム株式会社

カーブテラスⅡ〈出隅仕様〉 取付け説明書

MAF-683A
7-0102

●お願い…出隅以外の組立て・取付け及び施工上のご注意・製品の取扱いについては、カーブテラスⅡ本体に同梱してある取付け説明書をご覧ください。

■作業手順

1 柱位置出し・基礎穴掘り
→ 垂木がけの切断・加工

2 垂木がけの取付け
→ 棟木の切断・加工(出幅3尺・5尺)

3 棟木への部品取付け

4 柱の取付け

5 棟木と垂木がけの接続
600形の場合
1500形の場合 → けたの切断・加工

6 けたの取付け
→ 前枠の切断・加工

6 7 前枠の取付け
→ 垂木・野縁の切断・加工

7 8 垂木・野縁の取付け

8 9 前枠雨樋部のシーリング
→ 屋根パネルの切断
棟木カバーの切断・加工(出幅3尺・5尺)

9 10 屋根パネル・棟木カバーの取付け

■部材の加工寸法

●専用部材寸法

出幅(D)	出隅棟木(ℓ) A型	出隅棟木(ℓ) B型	出隅棟木カバー(ℓ) A型	出隅棟木カバー(ℓ) B型
3尺 (885)		1282		1364.5
4尺 (1185)		1709.5		1792
5尺 (1485)	2280.5	2137	2343.5	2219.5
6尺 (1785)	2708	2564.5	2771	2647

※出幅4尺と6尺が規格サイズです。
3尺・5尺用の場合は、左表に基づき切り詰めてください。
〔参考〕
切詰め寸法公式=(D−D_1)×1.425
D:規格、D_1:取付け時

●出隅部垂木・野縁寸法表(ℓ)

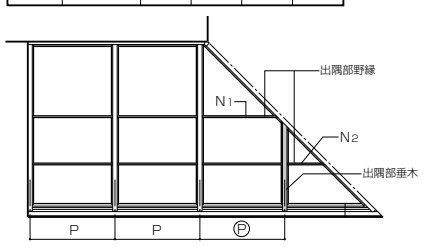
出幅(D)	垂木※	野縁 N_1	野縁 N_2※	屋根材カバー※
3尺	−	−	460	−
4尺	− 489	676.5	−	− 631
5尺	931 793.5	676.5	340	1064 936
6尺	1235.5 1098	719 ※	537	1369 1240

※1)N_2は、1500形のみ必要
2)6尺用のN_1は、規格野縁と同加工
3)垂木ℓ寸法　上段　A型
屋根材カバー　下段　B型
〔参考〕切詰め寸法
垂木=規格ℓ−(Ⓟ ×1.015+11.2)
屋根材カバー
=規格ℓ−(Ⓟ ×1.015−62.4)

●各部材寸法算出公式・寸法表(ℓ)
●前枠=D+(P×S)−165.27
●けた=D+(P×S)−185.27
●垂木がけ=P×S+80

出幅(D)		S 1間	S 1.5間	S 2間	S 2.5間
3尺	885	2	3	4	5
4尺	1185	1	2	3	5
5尺	1485	1	2	3	4
6尺	1785	−	1	2	4

タイプ	P	Ⓟ
関東間	760	760
関西間	820	
九州四国間		

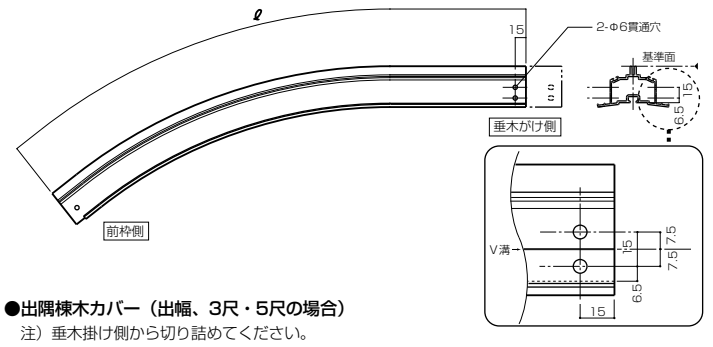


■部材の加工・取付け上のお願い

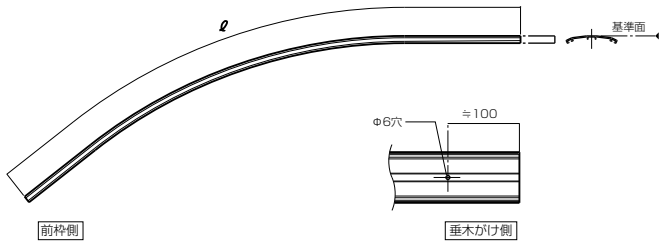
①屋根部材の加工方法は、垂木ピッチ本位で算出するものです。すなわち、垂木ピッチが通常より狭くなる場合はすべて切り詰めます。そのため、タイプによっては切詰め長さが長くなる場合もあります。
(出隅部分以外での屋根パネルの切断はありません。)
②現場・躯体の状況により、各部材の寸法は異なる場合がありますので、施工の際は調査・検討の上、加工してください。
③垂木がけの垂木取付け穴は下図姿図に従って、右図加工図上の▲印の位置に加工してください。
④1間×6尺は製作不可です。
⑤出隅部垂木ピッチは、関東間ピッチ(Ⓟ=760)にしてください。また、屋根パネルは関東間用を使用してください。
⑥間口2.5間ベースで組み立てる場合、及び1500形の場合は、必ずけた付きにしてください。

■部材の加工

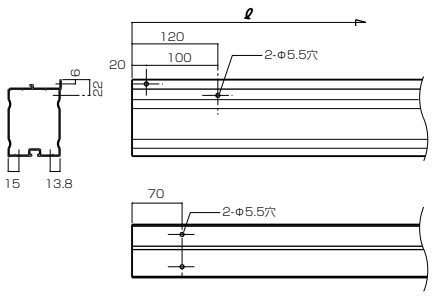
●出隅棟木(出幅、3尺・5尺の場合)
注)垂木がけ側から切り詰めてください。



●出隅棟木カバー(出幅、3尺・5尺の場合)
注)垂木掛け側から切り詰めてください。

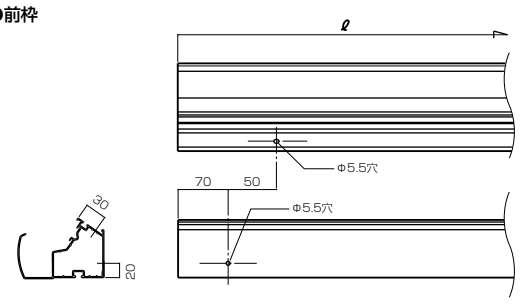


●けた



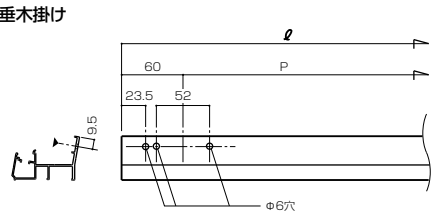
注)勝手違いは、逆端部を加工してください。
加工はコーナー継手接続側のみです。

●前枠



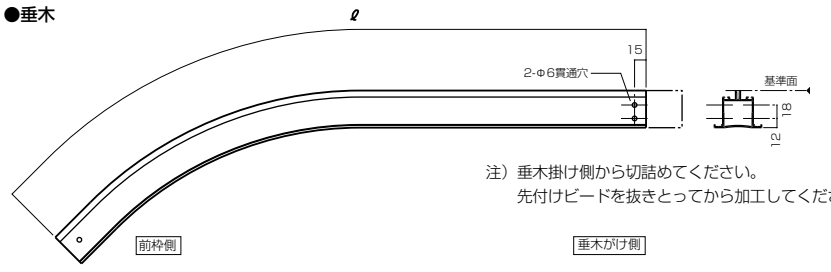
注)勝手違いは、逆端部を加工してください。
加工はコーナー継手接続側のみです。

●垂木掛け



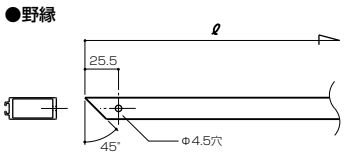
注)勝手違いは、逆端部を加工してください。

●垂木



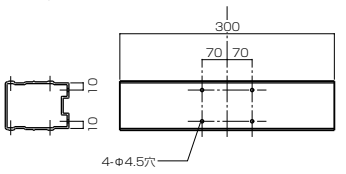
注)垂木掛け側から切り詰めてください。
先付けビードを抜きとってから加工してください。

●野縁

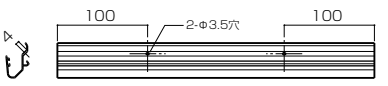


注)勝手違いは、逆端部を加工してください。

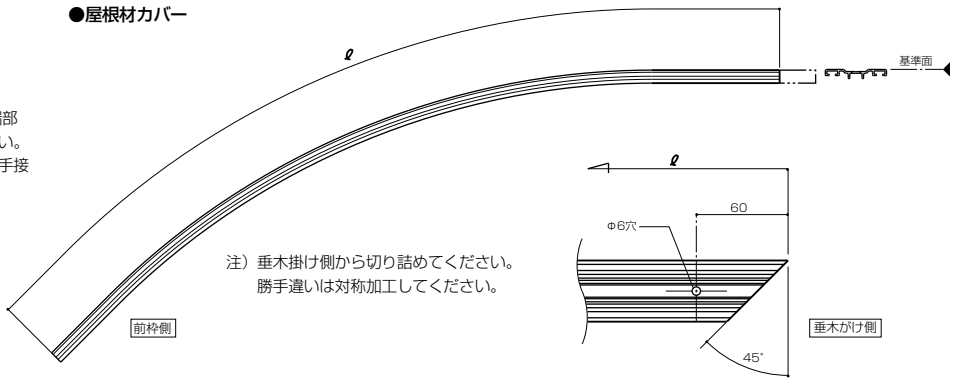
●けたスリーブ



●パネルカバー
注)現場合わせで適当な長さに切断してください。

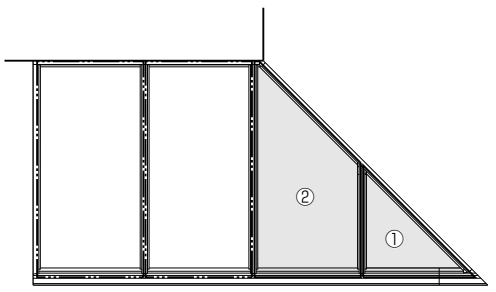


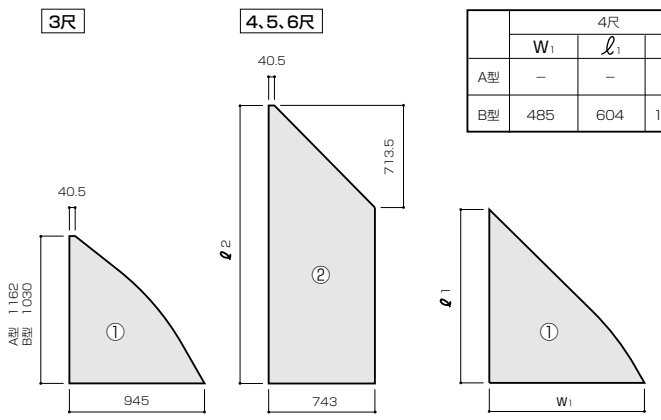
●屋根材カバー



注)垂木掛け側から切り詰めてください。
勝手違いは対称加工してください。

●屋根パネル寸法



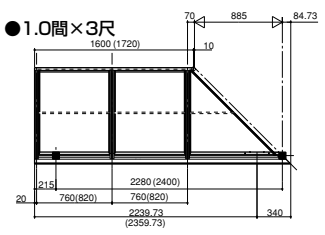


	4尺 W_1	4尺 ℓ_1	4尺 ℓ_2	5尺 W_1	5尺 ℓ_1	5尺 ℓ_2	6尺 W_1	6尺 ℓ_1	6尺 ℓ_2
A型	−	−	−	785	1041	1775.5	1085	1345	2080
B型	485	604	1334.5	785	908	1639	1085	1212.5	1944

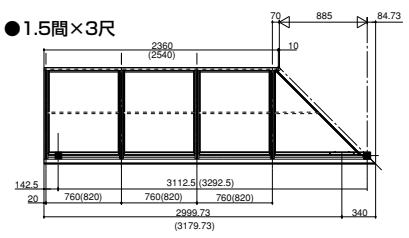
※出幅6尺のパネル①が規格品です。
4.5尺のパネル①及び3尺用パネルは6尺用から切断します。

■姿図

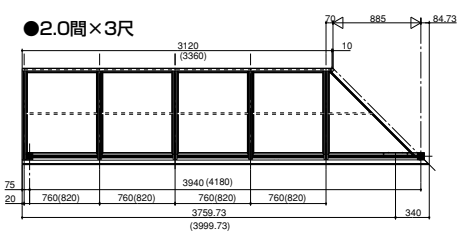
●1.0間×3尺



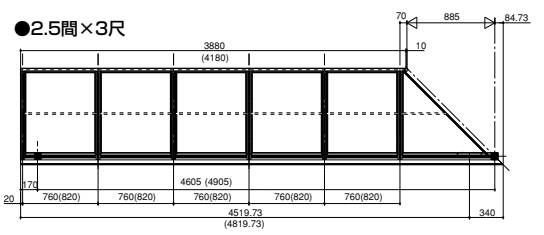
●1.5間×3尺



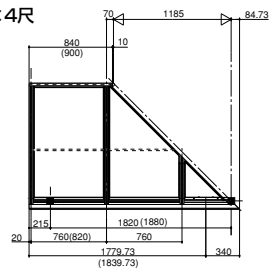
●2.0間×3尺



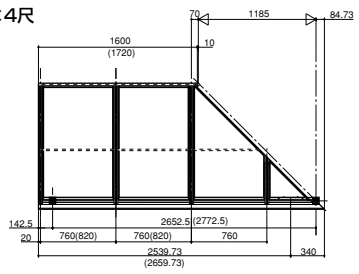
●2.5間×3尺



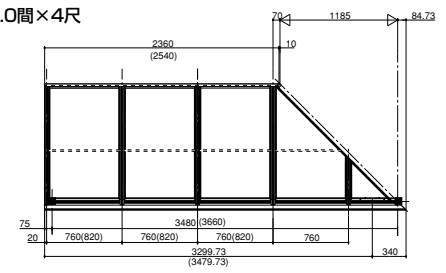
●1.0間×4尺



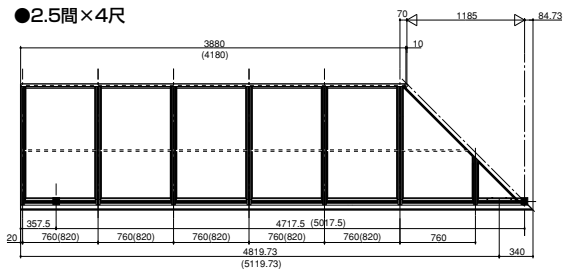
●1.5間×4尺



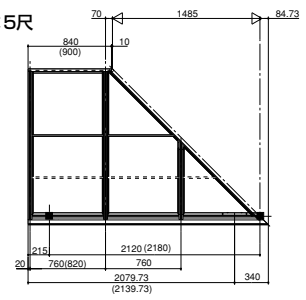
●2.0間×4尺



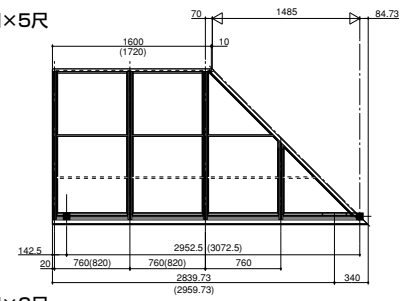
●2.5間×4尺



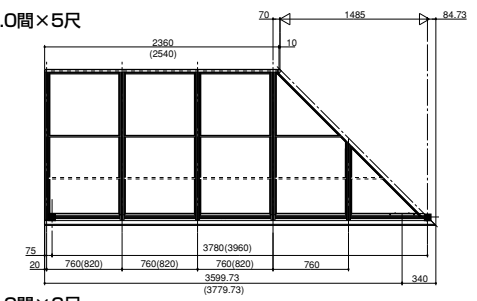
●1.0間×5尺



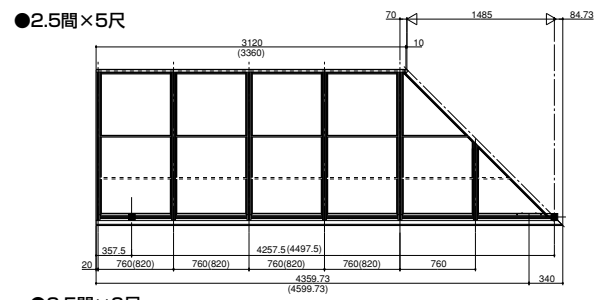
●1.5間×5尺



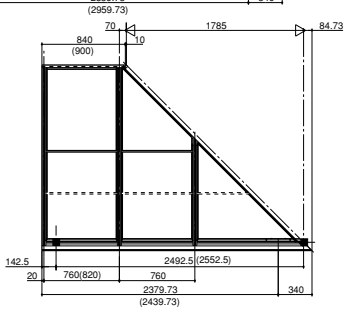
●2.0間×5尺



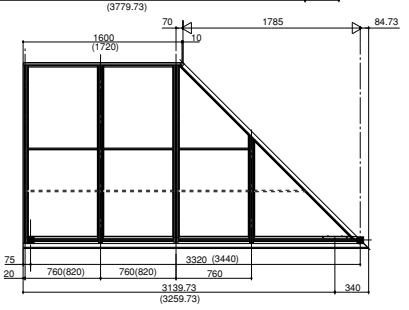
●2.5間×5尺



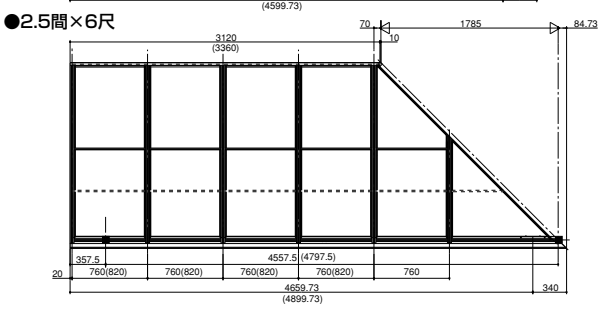
●1.5間×6尺



●2.0間×6尺

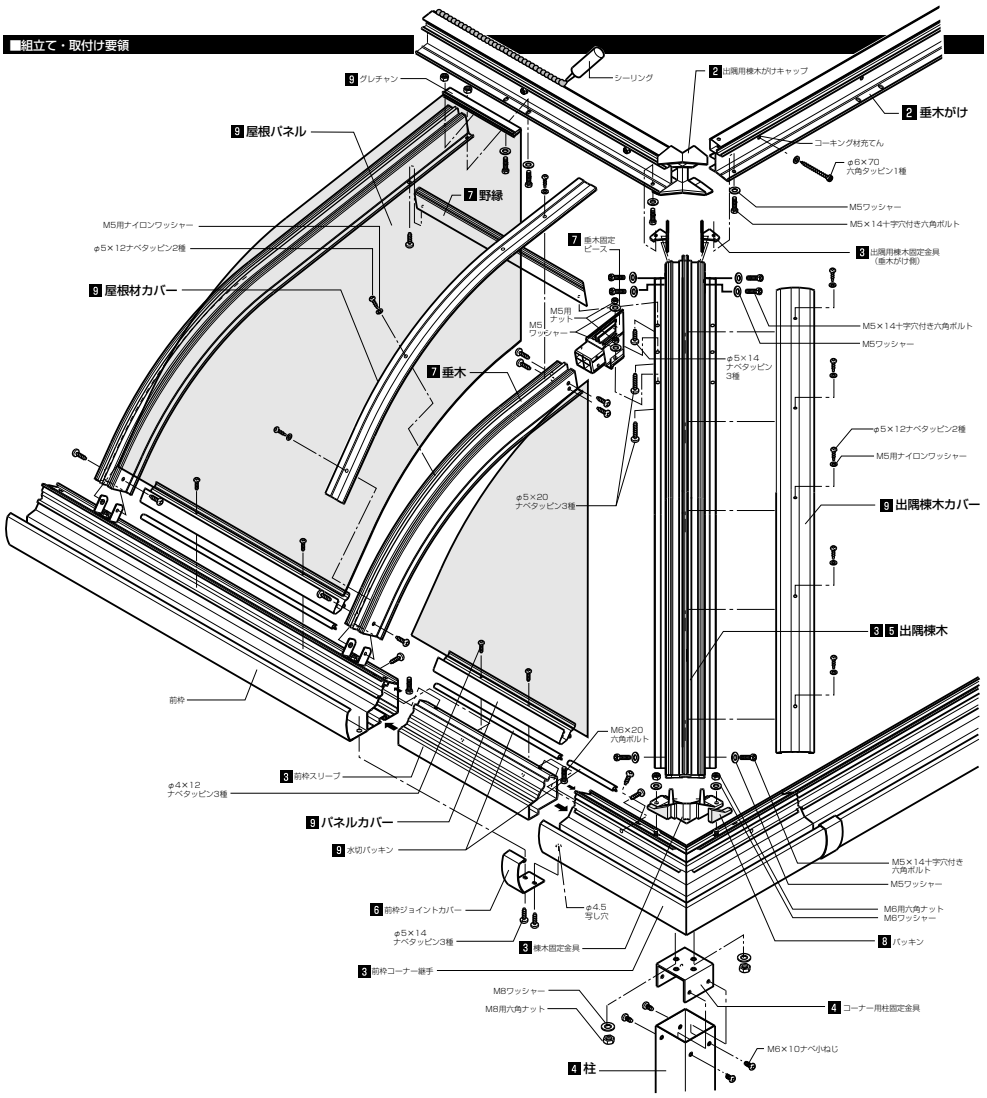


●2.5間×6尺



注1)(　　)内は、関西間・九州四国間をベースに組み立てる場合を示します。
注2) 壁面から70mmの位置に必ず垂木を取り付けてください。
注3) 破線は1500形の場合の野縁位置を示します。

■組立て・取付け要領



1 柱位置出し・基礎穴掘り

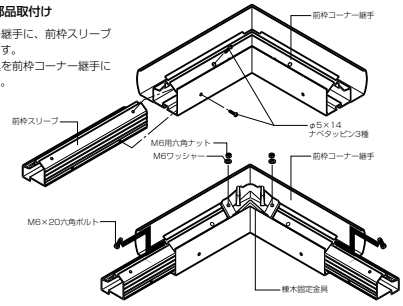
●姿図より、柱埋め込み位置を出し、基礎穴を掘ってください。

2 垂木がけの取付け

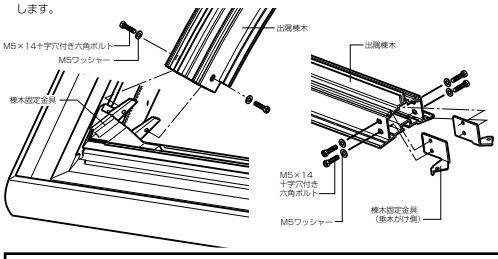
①出隅用垂木掛けキャップの下端を「垂木掛け取付け下端寸法−2mm」の位置に合わせて仮固定し、それに合わせて垂木掛けを取り付けます。
その際、必ず水準器で水平を出してください。
②躯体と垂木掛けの透き間にシーリングしてください。
※垂木掛けは必ず躯体の柱・間柱など構造材に取り付けてください。コーナー部は特に確実に取り付けてください。

3 棟木への部品取付け

①前枠コーナー継手に、前枠スリーブを取り付けます。
②棟木固定金具を前枠コーナー継手に取り付けます。

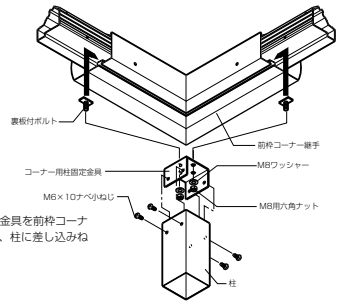


③棟木固定金具、棟木固定金具(垂木掛け側)を棟木を固定します。



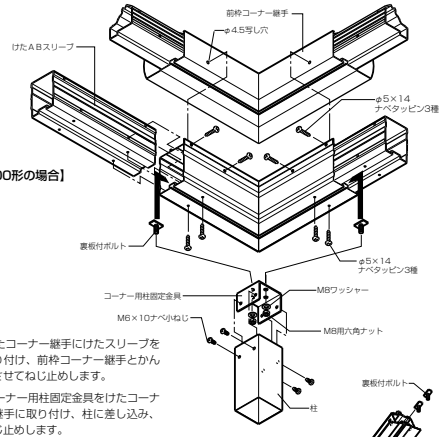
4 柱の取付け

【600形の場合】



●コーナー用柱固定金具を前枠コーナー継手に取り付け、柱に差し込みねじ止めします。

【1500形の場合】



●けたコーナー継手にけたスリーブを取り付け、前枠コーナー継手とかん合させてねじ止めします。

●コーナー用柱固定金具をけたコーナー継手に取り付け、柱に差し込み、ねじ止めします。

5 棟木と垂木がけの接続

●棟木を垂木がけに取り付けます。
穴が合わない場合には、出隅用棟木固定金具を固定しているねじをゆるめて、調整しながら取り付けてください。

6 前枠の取付け

【600形の場合】

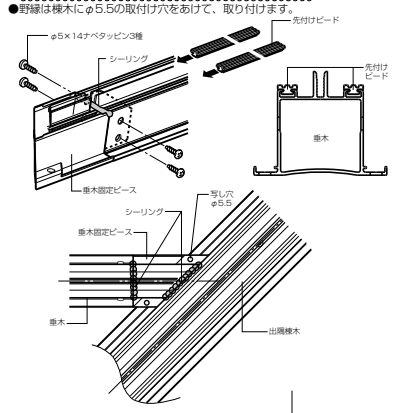
●前枠の端部に柱を取り付け、前枠コーナー継手と接続します。
●前枠コーナー継手と前枠の継ぎ目に前枠ジョイントカバーを取り付けます。

【1500形の場合】

●けたの端部に柱を取り付け、けたコーナー継手と接続します。
●前枠コーナー継手と前枠を接続し、けたの穴に合わせて前枠に写し穴φ4.5をあけてねじ止めします。
●前枠コーナー継手と前枠の継ぎ目に前枠ジョイントカバーを取り付けます。

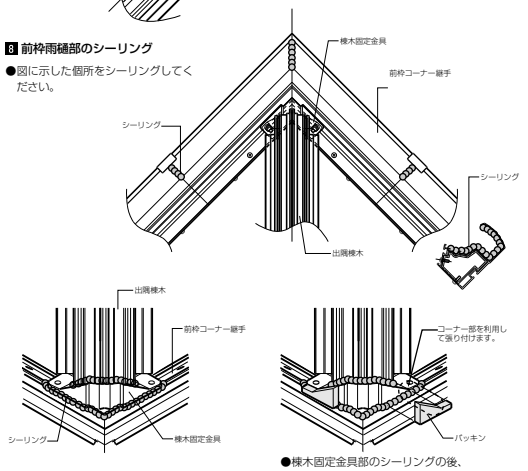
7 垂木・野縁の取付け

●先付けビードを抜き取った垂木を加工し、垂木固定ピースを取り付けます。
●垂木と垂木固定ピースのジョイント部をシーリングします。
●抜きとっておいた先付けビードをビードホールに差し込み、垂木固定ピース端末に合わせて、切断します。
●垂木固定ピースの穴に合わせて、棟木に写し穴φ5.5をあけて取り付けます。
●棟木と垂木固定ピースのジョイント部をシーリングします。
●野縁は棟木にφ5.5の取付け穴をあけて、取り付けます。



8 前枠雨樋部のシーリング

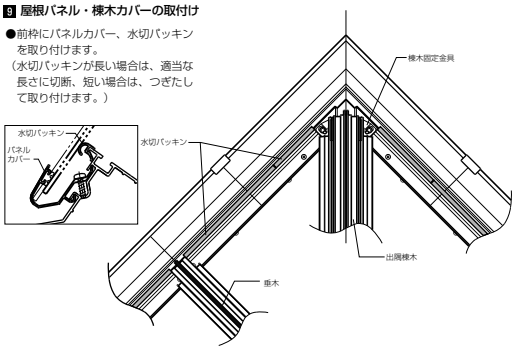
●図に示した個所をシーリングしてください。



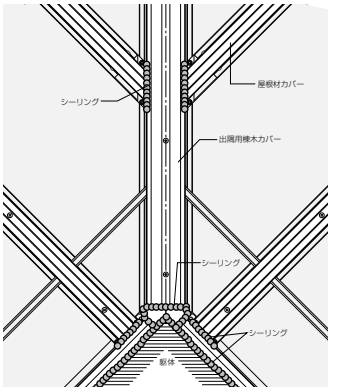
●棟木固定金具部のシーリングの後、パッキンを張り付けます。

9 屋根パネル・棟木カバーの取付け

●前枠にパネルカバー、水切パッキンを取り付けます。
（水切パッキンが長い場合は、適当な長さに切断、短い場合は、つぎたして取り付けます。）

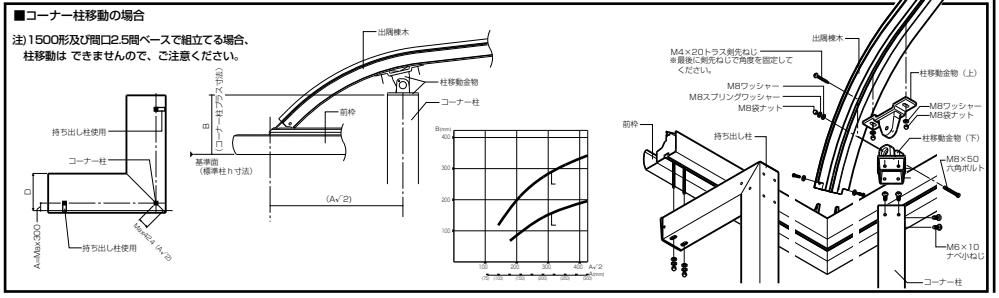


●約30mmに切断したグレチャンを、屋根パネルに付け、垂木がけ及びパネルカバーに取り付けます。
（三角形のアクリルには、グレチャンはつけません。）
●棟木カバーを出隅用垂木がけキャップの下にもぐり込ませて、ねじ止めした後、屋根材カバーを取り付けてください。
●右図指定部位を、確実にシーリングしてください。



■コーナー柱移動の場合

注)1500形及び間口2.5間ベースで組立てる場合、柱移動は できませんので、ご注意ください。



●柱基礎
●柱埋め込み穴をコンクリート(またはモルタル)で埋めてください。
●詳細はカーブテラスⅡ本体に同梱の取付け説明書に従ってください。